

営農経済トピック

No.628(2020.7.13)

今週のメニュー

- T A C通信
- 青果物の市場概況
- 県中西部地域でクビアカツヤカミキリの発生が確認されました
- 病害虫発生予察情報（7月予報）
- 生分解性マルチフィルム「きえ太郎Z」について
- いもち病、紋枯病に注意しましょう！
効果のある薬剤のおすすめ
- 気象情報
- 実証農場情報
- J Aみどりの風

酪農畜産課 Facebookのご紹介

New 酪農畜産課Facebookページ

<https://www.facebook.com/zennoh.gunma.rakunouchikusan/>

渋川家畜市場Facebookページ

<https://www.facebook.com/zennoh.gunma.shibukawa/>

畜産情報の発信をおこなっています
ぜひ「いいね」をお願いします！



T A C通信（571号）

【全農本所】スマート農業を実現する栽培管理支援システム

「ザルビオ フィールドマネージャー」 来春リリース予定

詳細は別途資料をご覧ください

青果物の市場概況

			6月28日	～	7月4日	7月6日	～	7月11日
品名			高値		安値	高値		安値
だいこん	(10kg)	DB	1,080	～	432	1,080	～	432
ごぼう	(10kg)	DB	2,700	～	2,484	2,700	～	2,484
キャベツ	(10kg)	DB	1,404	～	540	1,080	～	540
レタス	(10kg)	DB	1,080	～	324	1,080	～	324
はくさい	(12kg)	DB	1,080	～	324	1,080	～	324
ほうれん草	(200g)	袋	130	～	54	124	～	54
なす	(400g)	袋	238	～	140	194	～	130
トマト	(4kg)	DB	1,296	～	540	1,944	～	864
えだまめ	(300g)	袋	259	～	108	184	～	86
とうもろこし	(5kg)	DB	1,296	～	432	972	～	324

県中西部地域でクビアカツヤカミキリの発生が確認されました

群馬県農業技術センター作成の令和2年度病害虫情報第3号（クビアカツヤカミキリ）をご紹介します。

【発生概況】

令和2年6～7月の初めにみどり市、伊勢崎市のウメ、モモの果樹園や、高崎市のモモの果樹園でクビアカツヤカミキリの成虫や疑いのあるフラスの排出が確認されました。

県中部地域、西部地域でのクビアカツヤカミキリの確認は初めてとなります。

【形態および生態等】

- ・成虫は体長28～37mmで、全体的に光沢のある黒色です。前胸は明赤色で、前胸背板の両側部には突起があり側部に突出し目立ちます。
- ・成虫は6月下旬～8月上旬に出現し、交尾・産卵します。幼虫が樹木内部に食入し、摂食が盛んな春～初夏にはたくさんのフラスを排出します。
- ・国内では、サクラ、モモ、スモモ、ウメへの寄生が確認されています。

【防除対策】

8月から9月の幼虫食入初期に、樹幹および主枝部へ薬剤を散布し、樹の表面から浅部にいる幼虫を防除してください。果樹は主枝が低い位置で分岐しているためネットを巻きにくいですが、可能な場合は他の樹木への分散防止のため、フラスの見られた樹木を中心に6～8月の羽化期の前にネットを樹幹に巻きつけてください。



クビアカツヤカミキリ（成虫）



フラス



詳細は別途資料をご覧ください

病虫害発生予察情報（7月予報）

群馬県農業技術センター作成の病虫害発生予察情報（7月予報）をご紹介します。

主な病虫害の発生予報

チャバネアオカメムシ（果樹全般）の発生量は「**多い**」と予想されます。また、以下の病虫害は発生量が「**やや多い**」と予想されます。

作物名	病虫害名
イネ	葉いもち病、紋枯病、縞葉枯病
リンゴ	スモモヒメシンクイ
野菜類・花き類	オオタバコガ
野菜類	軟腐病
キャベツ	コナガ、タマナギンウワバ

関東甲信地方の天候見通し

要素	地域	低い(少ない)	平年並	高い(多い)
平均気温	関東甲信地方	10	20	70
降水量	関東甲信地方	30	40	30
日照時間	関東甲信地方	30	30	40

詳細は別途資料をご覧ください

生分解性マルチフィルム「きえ太郎Z」について

生分解性マルチフィルム「きえ太郎Z」についてご紹介いたします。

【特徴】

コーンマルチIIが商品名を「きえ太郎Z」に変更して登場！

強度・作業性…原料のマスタービーズは薄くても強度があるため、厚み0.015mmを標準規格としています。

マルチャーでの展張も可能です。

省力化…使用後はそのまま鋤き込む事ができるので、はぎ取りや廃棄処理が不要で、作業の省力化を図ることができます。

分解性…鋤き込み後は土中の微生物によって水と炭酸ガスに完全分解しますので、廃プラでの処理費用が不要です。

日本プラスチック協会認証のグリーンプラマークを取得しています。

詳細は別途資料をご覧ください

お問い合わせ先

園芸部 園芸資材課

TEL：027-220-2291

いもち病、紋枯病に注意しましょう！効果のある薬剤のおすすめ

▼「群馬県病害虫発生予察情報7月予報」で「発生やや多い」見通し

いもち病は発生部位によって葉いもち、穂いもちなどと呼ばれ、イネのもっとも重要な病害の一つです。

現在までの発生量は平年並みですが、アメダスを利用した発生予察モデルでは6月の感染好適日（いもち病に感染しやすい日）が平年よりも多く見られました。また7月の一か月気象予報では、いもち病が発生しやすい気象が予報されています。

特にイネの葉色が濃い場所や水口など、いもち病が発生しやすい箇所をよく観察して早期発見に努めましょう。



紋枯病はいもち病に次ぐ重要病害で、前年の発生量が多かったり、高温多湿、多肥栽培で生育が旺盛な場合に発生しやすくなります。いもち病と同じく今後発生しやすい気象が予報されているので、早期発見、適期防除に努めましょう。

【おすすめ薬剤】

ゴウケツモンスター粒剤 など

詳細は別途資料をご覧ください

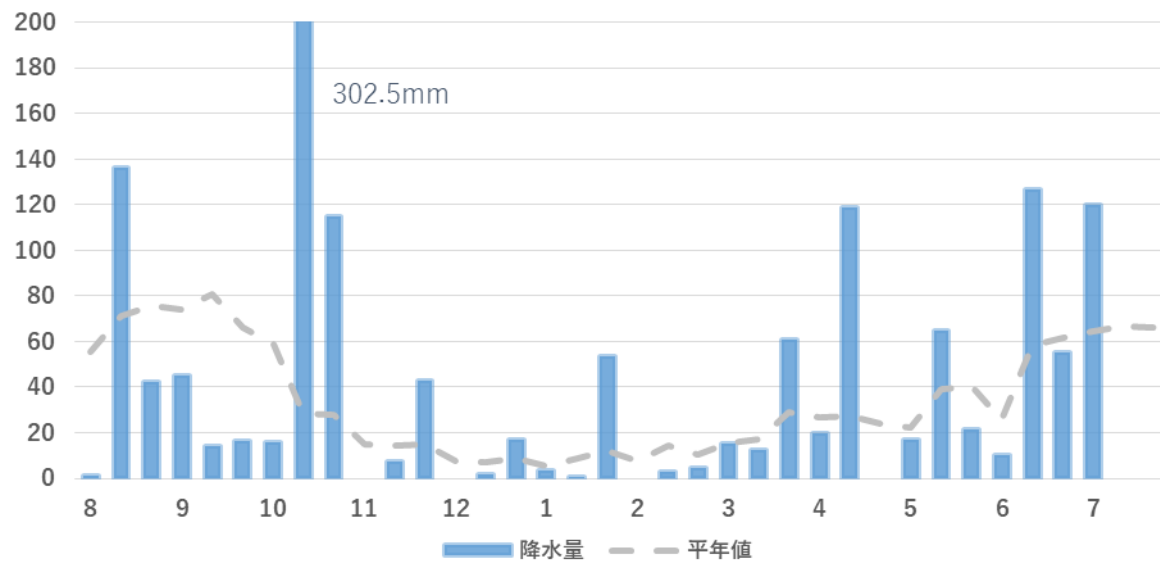
お問い合わせ先

生産資材部 肥料農薬課

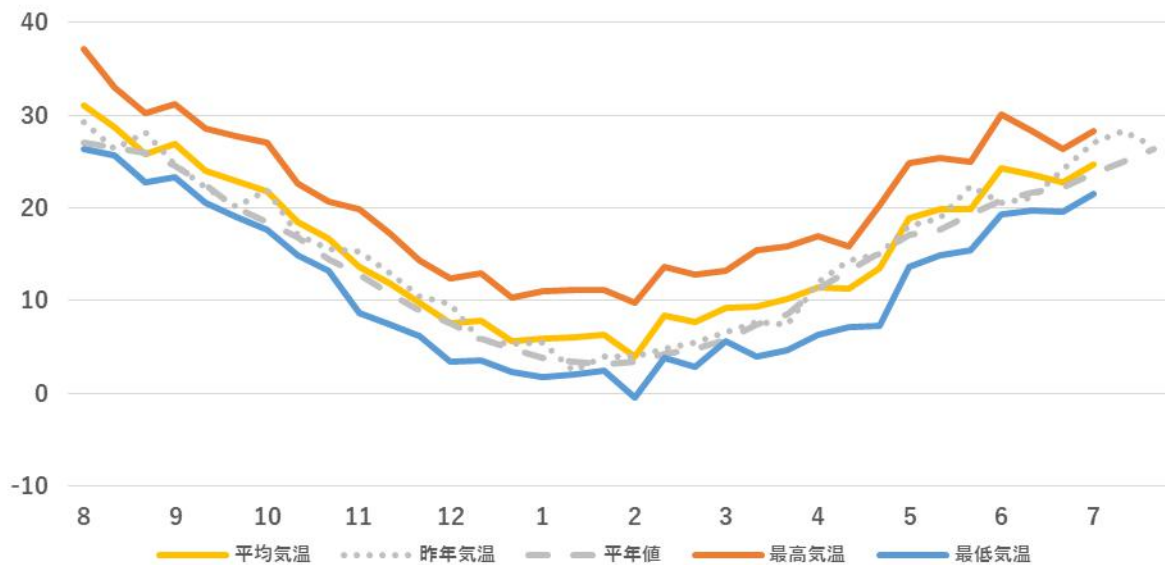
TEL：027-220-2301

気象情報
前橋（標高112m）

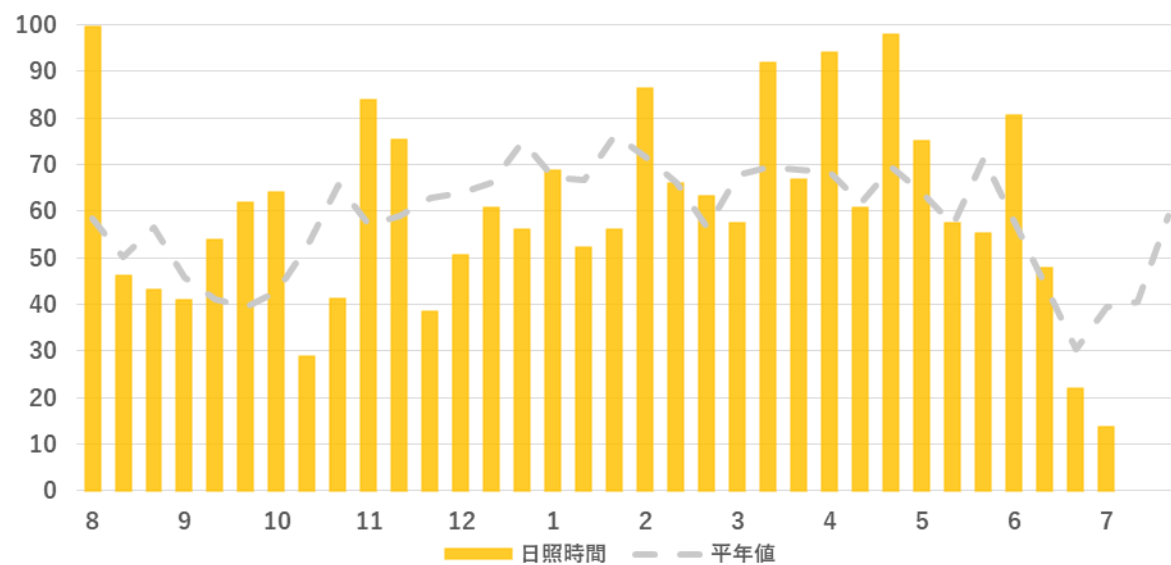
年間降水量 (mm)



年間平均気温 (°C)

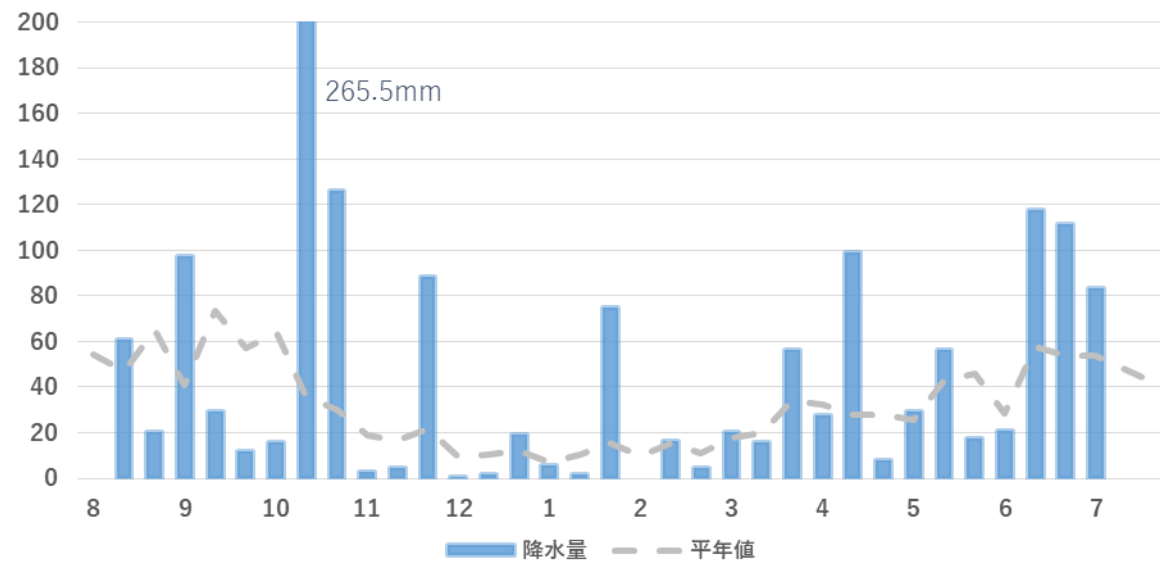


年間日照時間 (h)

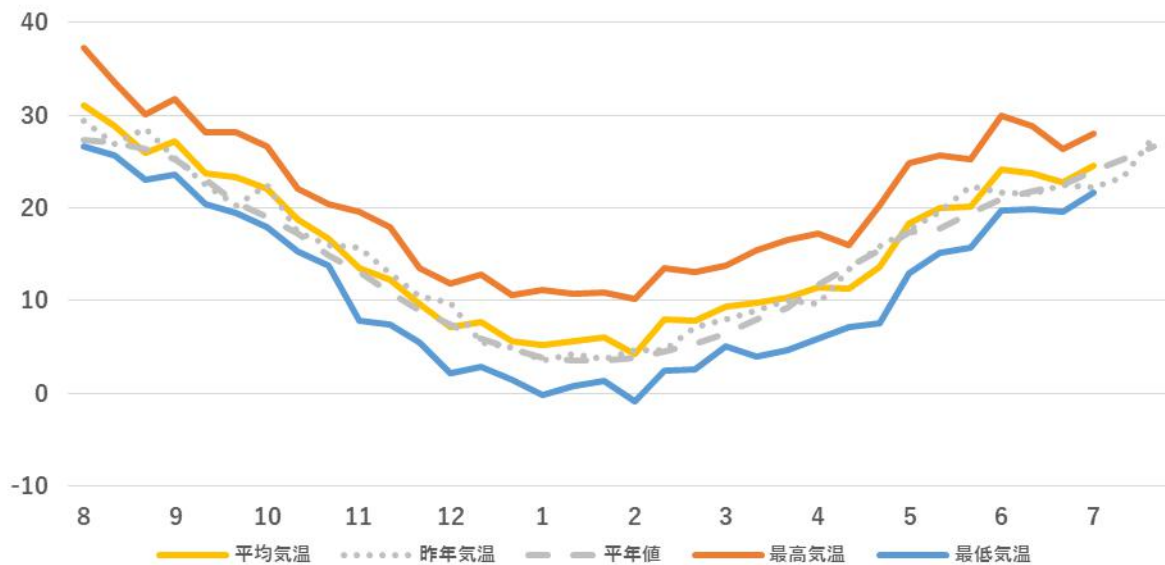


気象情報
館林 (標高21m)

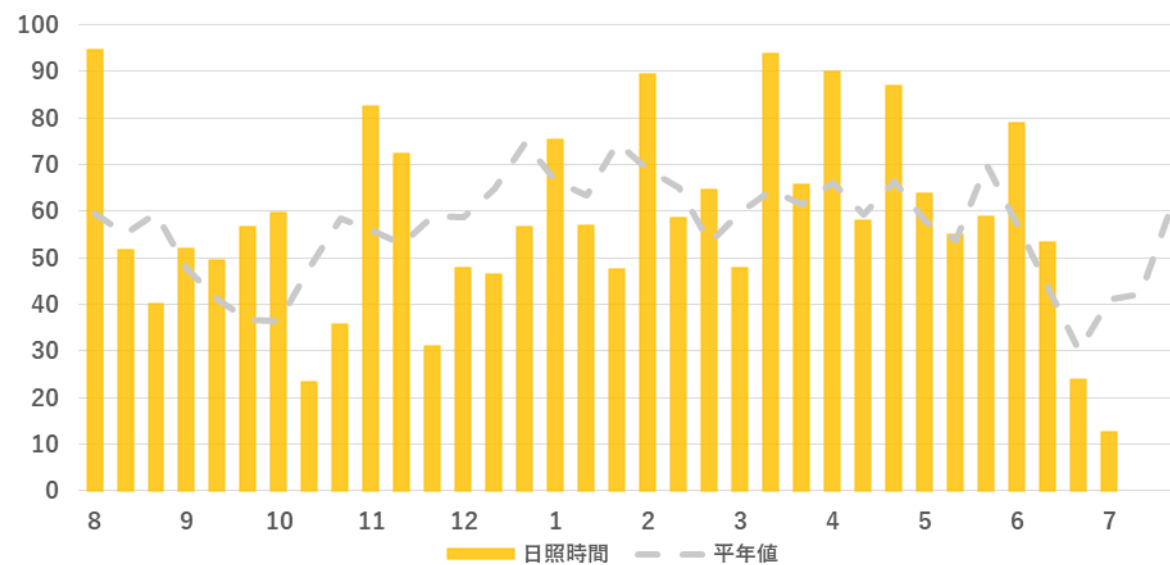
年間降水量 (mm)



年間平均気温 (°C)

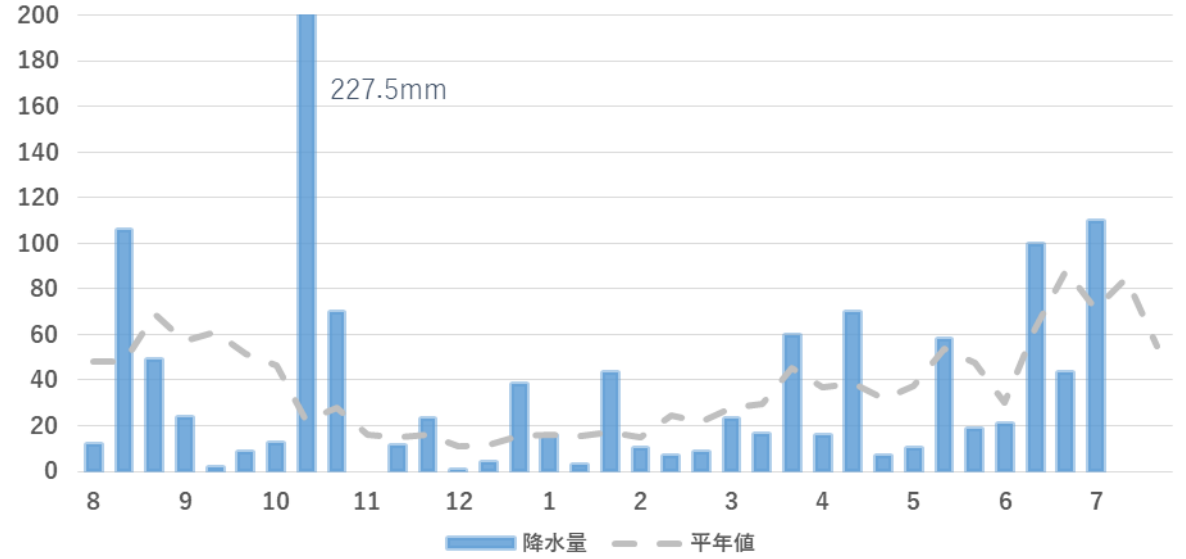


年間日照時間 (h)



気象情報
沼田（標高439m）

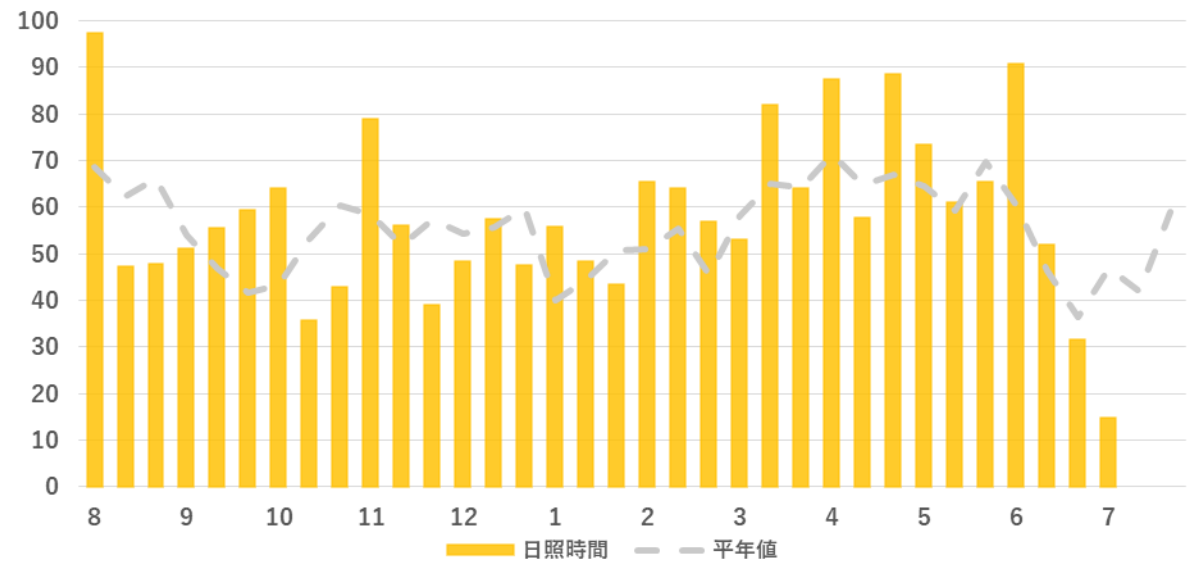
年間降水量 (mm)



年間平均気温 (°C)

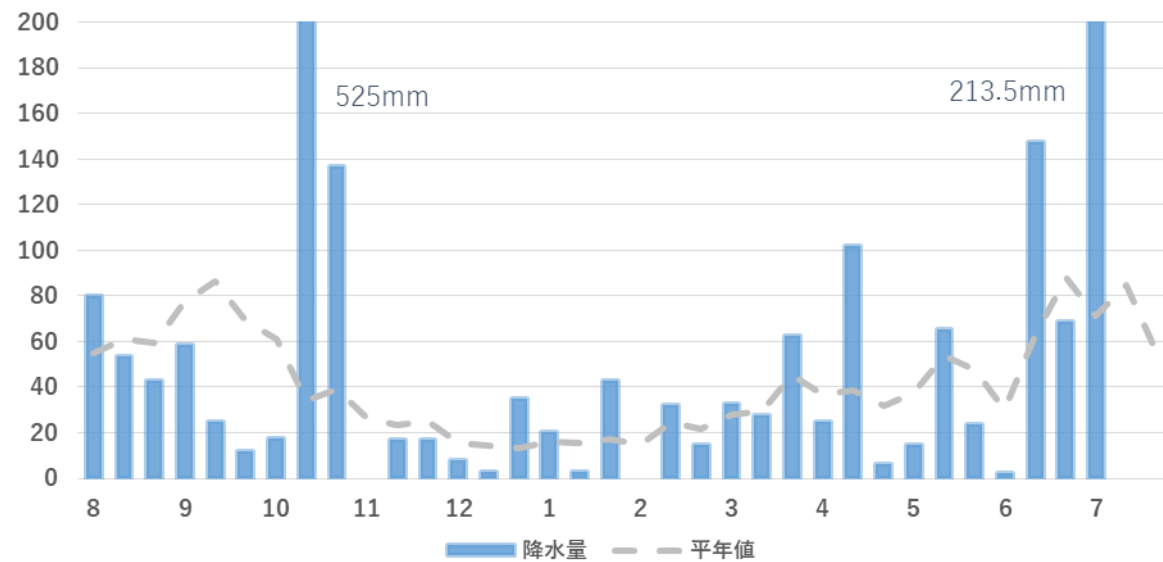


年間日照時間 (h)

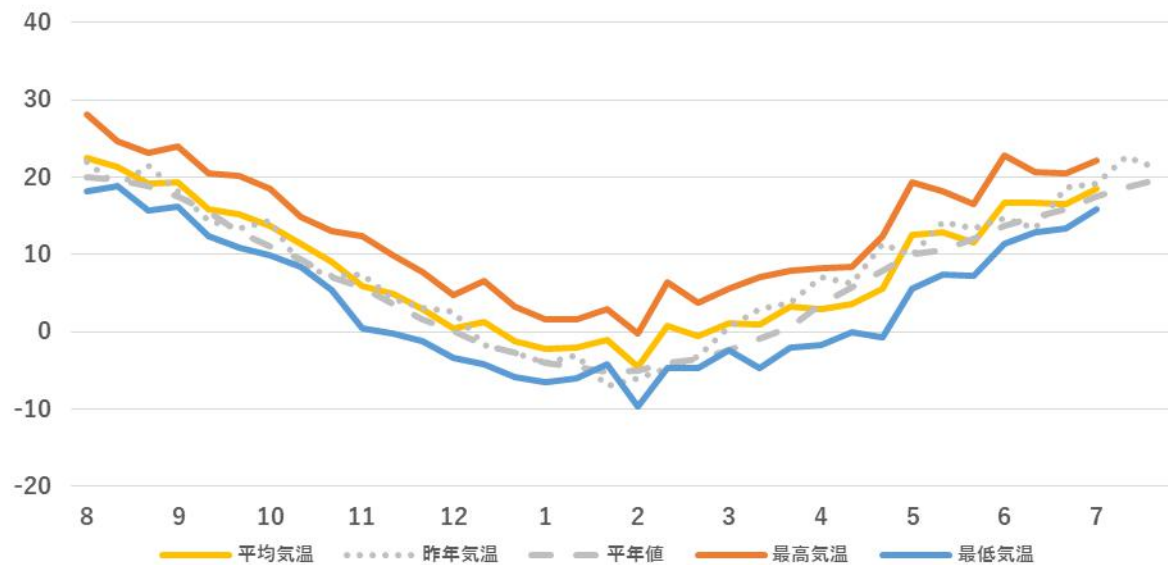


気象情報
田代 (標高1,230m)

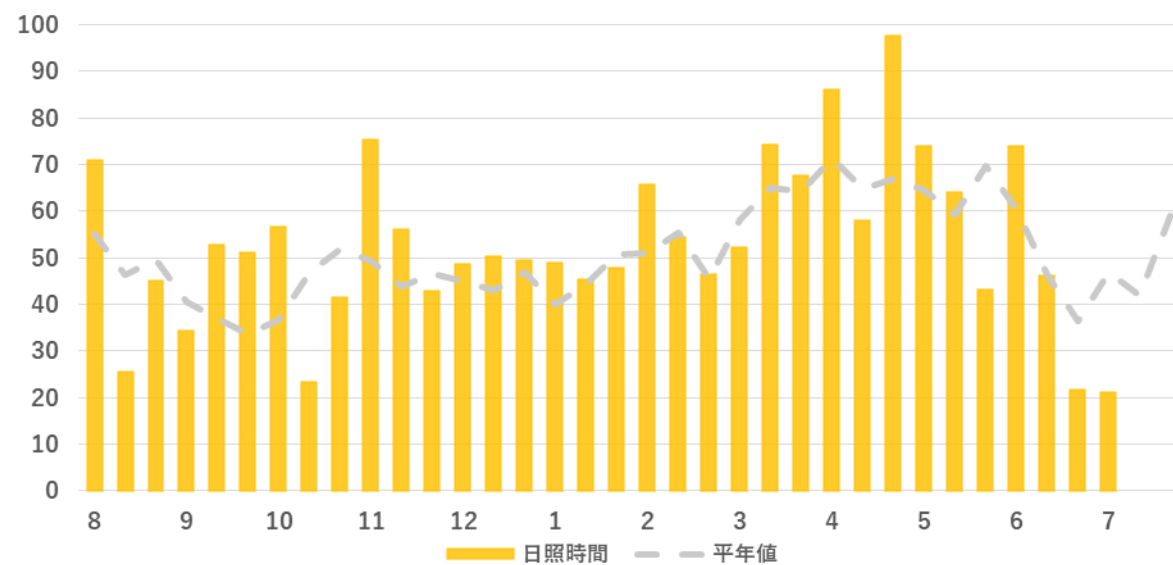
年間降水量 (mm)



年間平均気温 (°C)



年間日照時間 (h)



実証農場情報

キュウリ・ナスをはじめとした施設野菜の栽培状況やGAPへの取り組みなど、園芸作物生産実証農場の今をご紹介します。

- 促成キュウリ（定植：1/16）「勇翔」「聖真」
- 半促成ナス（定植：2/5）
「式部」「黒福」「あのみり2号」「輝楽」
タキイ種苗試験品種「No.501」「No.559」
- ミニトマト（定植：3/17）※ういずOne
「アルル」「キリちゃん」「サンオレンジ」

JAみどりの風

旬のおいしい野菜や果物をご紹介します。新鮮で安心・安全な農産物を販売するJAの直売所、農家の奥さま直伝のレシピ等も必見！

群馬テレビで放送中！

- 本放送
毎週月曜日 21:00～21:30
- 再放送
毎週日曜日 8:00～8:30

今週の放送予定

第1424回
暑い夏にスタミナを！
和牛・ニガウリ

放送日：7月13日（月）
再放送日：7月19日（日）

和牛生産者とニガウリ生産者取材。
牛へのエサやり、ニガウリの収穫を体験します。
番組の最後にはステーキとゴーヤチャンプルの試食も。

来週の放送予定

第1425回
県内トップの生産量！
夏秋ナスとエダマメ

放送日：7月20日（月）
再放送日：7月26日（日）

県内でも有数の夏秋ナス・枝豆の産地であるJAにっただみどり取材。
作物の収穫、管理作業を体験します。
最後には、毎度おなじみ料理に挑戦。



キルパー灌注



7月10日



7月13日

キュウリ 7月10日をもって促成栽培が終了
※出荷実績はまとまり次第お知らせします

ナス

- ・腋芽の管理作業の徹底を図っており、連続的な花芽の着生・開花が繰り返されている。
- ・29日切り戻し剪定実演会を予定。

（調査日：7月10日）

編集後記

小学校の卒業記念樹は、特別好きでもなかったブルーベリーを選びました。自宅の庭には柿・栗・ユスラゴ・ザクロ・ビワがありましたが、小学生時代の自分にとってはどれも渋くて、洋風なものへの強い憧れがあったのだと思います。そんなブルーベリーを植えて13年目の今年、初めて収穫まで辿り着き、当時の記憶が一気によみがえりました。

営農経済トピックは、各部署等からの情報をまとめ、毎週月曜日に発信しています。
情報内容へのご意見・ご要望をおまちしております。

営農支援部 生産対策課（担当：浅野）TEL：027-220-2046